



The bridge to possible

データシート

Cisco Public

Cisco® Meeting Server、
Meeting App、Meeting
Management は、音声、
Web、ビデオ会議のための
拡張性に優れた高度な相互運用
性によって、革新的なチームコ
ラボレーションを実現します。

目次

製品概要.....	3
優れた機能.....	3
プラットフォームのサポート.....	6
製品仕様.....	7
発注情報.....	9
シスコの環境維持への取り組み	12
Cisco Capital	12

製品概要

Cisco® Meeting Server は、スケーラブルで安全なオンプレミス会議ソリューションです。そのデフォルトエクスペリエンスは Cisco Webex® に合わせて調整されており、ビデオ、音声、および Web コミュニケーションをカスタマイズして、あらゆる顧客の特定のコラボレーションニーズを満たすことができます。

Cisco Meeting Server Web アプリケーションを使用すると、サポートされているブラウザから簡単に会議を作成、参加、および実行できます。webRTC をサポートするブラウザを使用すると、ユーザはリンクをクリックするだけで、アプリケーションをダウンロードすることなく、すばやく会議に参加できます。会議に参加すると、Web アプリケーションは、名簿リストと会議中のコントロールを使用して完全な会議エクスペリエンスを提供します。Web アプリケーションは、会議スペースを作成するためのユーザのポータルでもあり、ユーザはこれを変更して（たとえば、スペースの名前を変更、PIN を追加、など）、会議参加情報を共有できます。

Cisco Meeting Management は、Cisco Meeting Server の必須コンポーネントです。Cisco Smart ライセンスに接続して、ライセンスの購入、登録、およびモニタリングを簡素化します。さらに、管理者は、ユーザ用の会議テンプレートのプロビジョニングができ、またオペレータが Cisco Meeting Server で会議をモニタおよび管理できるようにすることができます。管理者は、アクティブな会議すべてを簡単にモニタし、制御できます（参加者の追加、退室、またはミュート、レイアウトの変更、録画またはストリーミングの開始/停止など）。

優れた機能

高い拡張性で地理的な分散にも対応

会議は簡単に拡張できます。

- クラスタごとに最大 24 の Call Bridge を導入して、スケール（最大 16,800 の同時 HD コール）、レジリエンス、および複数の地理的ポイントを提供できます。8 台以上のサーバを必要とする設計では、シスコエンジニアリングによるレビューが必要です。Call Bridge はさまざまなハードウェアプラットフォームで展開できるため、お客様は必要に応じて拡張できます。次のようなモデルが用意されています。
 - Cisco Meeting Server 1000 は、エントリレベルの導入向けの低コストの仮想化 Cisco UCS® サーバで、最大 96 個の HD ポートをサポートします。
 - Cisco Meeting Server 2000 は、業界で最大容量のシングルサーバであり、最大 700 の HD ポートをサポートします。
 - 物理コアあたり最大 2.5 の HD ポートをサポートする仕様ベースのサーバ（詳細については、[cisco.com](https://www.cisco.com) を参照してください）
- クラスタを Call Bridge グループに分割して、プロキシミティに基づいてロードバランシングとリソース割り当てを最適化できます。
- Call Bridge クラスタは、1 秒あたり最大 40 のコールをサポートします（これには、コールの参加者と、ロードバランシング、参加者の移動などに必要な内部コールが含まれます）。
- 1 つの Call Bridge での会議で最大 450 人、または単一クラスタの複数の Call Bridge で最大 2,600 人の参加者をサポートします。

会議が複数の Call Bridge インスタンスにまたがる場合、Call Bridge インスタンス間でインテリジェントな配信リンクが自動的に維持され、すべての参加者にシームレスな単一の会議エクスペリエンスを提供します。

物理サーバの機能を超えてアーカイブまたは拡張する必要がある場合に会議の記録とストリーミングがサポートされます。

- 24 ノードのクラスタ間で最大 75,000 人の Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) ユーザを同期し、ユーザごとに会議スペースを設定できます。設定されているユーザが少ない場合でも、最大 75,000 スペースが適用されます。
- Cisco Meeting Server Web アプリケーションは、Session Initiation Protocol (SIP) コールと同じ制限まで拡張できます。
 - Audio over webRTC は 12,000 コールに制限されています
 - Cisco Expressway™ では、最大 800 の外部 HD webRTC コールがサポートされます。
- Cisco Meeting Management は、週に最大 10,000 件の会議をサポートします。
 - 24 の Call Bridge のクラスタは、ライセンス専用モードでサポートされます。
 - Cisco Meeting Management の小規模なインスタンスは、1 秒あたり最大 10 のコールレグ（ピーク使用率）および 15 の同時ユーザ（オペレータ）をサポートします。
 - Cisco Meeting Management の大規模なインスタンスは、1 秒あたり最大 20 のコールレグ（ピーク時の使用）と 25 の同時ユーザ（オペレータ）をサポートします。

User Experience

デフォルトのミーティングエクスペリエンスは Webex に合わせて調整され、シスコのコラボレーションエンドポイント向けに最適化されているため、エンドユーザはテクノロジーの仕組みを気にすることなく、コラボレーションに集中できます。さらに、特定のユースケースに合わせて会議を完全にカスタマイズできます。

- 特定の会議設定/エクスペリエンス、参加者の権限などをすべて事前に設定できます
- 画面に表示される参加者と表示される場所は、重要度レベルまたはペインの配置によって制御できます。
- 独自のカスタムレイアウトを作成して使用する機能は、別のライセンス経由でも利用できます。

Cisco Meeting Server は、Cisco Webex Room、Board、およびデスクエンドポイントと Cisco Jabber® で動作するように最適化されています。これらのデバイスはすべて、会議のエクスペリエンスを向上させるために、名簿リストと会議中の制御を取得します。また、特定のエンドポイントは、デュアルスクリーンレイアウトとパノラミックレイアウトの拡張エクスペリエンスもサポートします。

ほとんどのソフトクライアントとは異なり、Cisco Meeting Server Web アプリケーションは固定の縦横比 16:9 に制限されません。使用可能なウィンドウサイズにレイアウトを最適化します。簡単な例として、デバイスが縦向きまたは横向きの場合に異なるレイアウトが利用できます。ユーザがウィンドウサイズまたは縦横比を変更すると、Web アプリケーションはレイアウトを最適化して（表示される参加者の数と場所を変更し）、参加者を最適に表示し、無駄なスペースを最小限に抑えます。

Web アプリケーションでは、ビデオとは別のウィンドウにコンテンツを表示することもできます。これにより、ユーザは画面の使用方法をより細かく制御できるようになり、一方の画面にビデオを、もう一方の画面にコンテンツを表示するデュアルスクリーンエクスペリエンスを実現できます。

会議の管理

Cisco Meeting Management にはアクティブな会議の情報が表示され、Cisco Meeting Server 導入環境を管理できます。基盤となるビデオブリッジ設定や通話セットアップといった複雑な作業についてオペレータが理解する必要はありません。さらに、ライセンスの使用状況をレポートし、管理者は会議テンプレートをプロビジョニングして、エンドユーザによるスペースの作成を簡素化できます。サポートされる機能は、次のとおりです。

- Cisco Meeting Server クラスタでアクティブな会議と 24 時間以内に予定されている会議をリストし、ソート、フィルタリング、検索を行う機能
- アクティブな会議の参加者をリストする機能
- 会議で誰が話しているかの確認
- 参加者のソート、フィルタリング、検索
- 個人、全員、または選択したメンバーや新しい参加者のグループの、音声のミュートとミュート解除
- ビデオのミュートとミュート解除
- 重要な参加者の指定
- レイアウトの変更（会議全体または個別）
- 指定した参加者が画面に表示される場所を設定
- 参加者の追加または退室
- 通話統計の表示（音声、ビデオ、またはプレゼンテーション）
- 会議の録画またはストリーミングのセッションの開始
- 会議間での参加者の移動
- ライセンス使用状況のダッシュボードを表示
- 会議テンプレートをプロビジョニングする機能を持つユーザの LDAP インポート
- 7 日間保持される、会議イベントログ

シンプルで予測可能なオールインワンの販売モデル

このライセンスには次のような特長があり、ユーザはすぐに使用を開始できます。

- 顧客は、ミーティングポートフォリオ全体（クラウド、ハイブリッド、またはオンプレミス）に資格を付与するサブスクリプションライセンスを購入できます。または、オンプレミスソリューションの永久ライセンスも利用できます。
- 1 つのライセンスに、スペース（仮想会議室環境）、Cisco Meeting Server Web アプリ、Cisco Meeting Management、スケジューリング、ファイアウォールトラバーサルが含まれ、Microsoft Skype for Business との相互運用性も備えています。

プラットフォームのサポート

Cisco Meeting Server ソフトウェアを実行するプラットフォームとしては、Cisco Meeting Server 1000 および 2000 アプライアンスが最も適しています。表 3 は、規模の観点から、Cisco Meeting Server 上の Call Bridge が各サーバでサポートできるキャパシティを示しています。その他のコーデックや高いコンテンツ解像度/フレームレートは、容量の減少につながります。会議が複数の Call Bridge にまたがる場合は、分散リンクが自動的に作成され、サーバのコール数と容量に対してもカウントされます。

Cisco Meeting Server の主な利点の 1 つは、柔軟な拡張性にあります。表 3 では各種シナリオでの実現可能なキャパシティを示していますが、既存の参加者のエクスペリエンスを段階的に変えて、会議参加者を増やす設定を個々のサーバに行うこともできます。また、大規模な展開では、会議のロードバランシングを行い、実効容量を最大化できます。

表 1. サポート対象サーバでの Call Bridge

コールのタイプ	Cisco Meeting Server 1000 M5*	Cisco Meeting Server 2000**
フル HD コール 1080p60 ビデオ 720p30 コンテンツ	24	175
フル HD コール 1080p30 ビデオ 1080p30/4K7 コンテンツ	24	175
フル HD コール 1080p30 ビデオ 720p30 コンテンツ	48	350
HD コール 720p30 ビデオ 720p5 コンテンツ	96	700
SD コール 448p30 ビデオ 720p5 コンテンツ	192	1000
音声通話 (G.711)	2200	3000

* Cisco Meeting Server 1000 は、事前設定済みの Cisco UCS C220 M5 ラックサーバです。詳細仕様については、<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/datasheet-c78-739281.html> を参照してください。Cisco Meeting Server 1000 の場合、Cisco Meeting Server は VMware 上で実行されるため、VMware ライセンスが別途必要です。

** Cisco Meeting Server 2000 は、8 台の Cisco UCS B200 M5 ブレードサーバを搭載した Cisco UCS 5108 ブレードサーバシャーシです。詳細仕様については、https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-5100-series-blade-server-chassis/data_sheet_c78-526830.html および <https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/servers-unified-computing/ucs-b-series-blade-servers/datasheet-c78-739296.html> を参照してください。Cisco Meeting Server 2000 の場合、Cisco Meeting Server はサーバ上で直接実行されるため、VMware は必要ありません。

仕様ベースのサーバでの Cisco Meeting Server の要件については、

https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/virtualization/virtualization-cisco-meeting-server.html を参照してください。

仕様ベースのサーバでの Cisco Meeting Management の要件については、

https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/virtualization/virtualization-cisco-meeting-management.html を参照してください。

製品仕様

表 2 に Cisco Meeting Server の仕様を示します。

表 2. 仕様

ビデオ規格	<ul style="list-style-type: none">• H.261• H.263 (+, ++)• H.264 AVC (ベースラインおよびハイ プロファイル)• H.264 SVC• WebM、VP8• Microsoft RTV• HTML5/WebRTC• SIP、H.323、TIP• BFCP• RDP• Far End Camera Control (FECC; 遠端カメラ制御) パススルー• RTMP
音声規格	<ul style="list-style-type: none">• AAC-LD• Speex• Opus• G.722、G.722.1、G.722.1c、G.728、G.729a、G.711a/u• オートゲインコントロール (AGC)
帯域幅	<ul style="list-style-type: none">• 最大 6000 kbps
解像度およびフレーム レート	<ul style="list-style-type: none">• メイン ビデオは最大 1080p/60 fps、コンテンツは 最大 1080p30/4K 7• 録画 (録音) は、音声、720p30 または 1080p30 の間で設定可能• ストリーミングは 720p30 ~ 1080p30 の間で設定可能
管理	<ul style="list-style-type: none">• サーバ管理• LDAP ベースの構成用スクリプト言語• 資産、モニタリング、診断用の Representational State Transfer (REST) API• 監査用の通話詳細レコード (CDR) ストリーミング• 診断用の syslog• マルチテナント サポート• 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP)• バックアップと復元

アカウント管理および権限	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Active Directory (AD) または Open Lightweight Directory Access Protocol (OpenLDAP) との統合により、ロールベースの権限をサポート • 企業ディレクトリとの同期により、ユーザ アカウントの自動作成および自動メンテナンスを実現
セキュリティおよび監査	<ul style="list-style-type: none"> • IP メディア (ビデオおよび音声) は Advanced Encryption Standard (AES) で暗号化 (業界標準の Secure Real-Time Transport Protocol (SRTP)) • すべての制御データを認証および暗号化 (業界標準の TLS と Secure Sockets Layer (SSL)) • ドメイン ネーム システム セキュリティ拡張 (DNSSEC) • IPv6 のサポート • スペース用のセキュリティ コードまたは PIN オプション • 音声のみの参加者および暗号化ステータスの画面表示 • 現場での業界標準の強力な暗号化による通信の保護 • JITC 認定 • FIPS-140-2 • Network Time Protocol (NTP) 認証キーのサポート • システム変更をモニタする統合アプリケーション監査ログギングをサポート
診断とトラブルシューティング	<ul style="list-style-type: none"> • Syslog : ローカル/リモート。 • クラッシュログ • ログ バンドル <ul style="list-style-type: none"> ◦ システム ログ ◦ 監査ログ ◦ システム設定 ◦ アプリケーション設定 ◦ システムの情報 • 設定のバックアップと復元
高可用性	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Meeting Management ではアクティブ-アクティブの高可用性モデルがサポートされています。 • Cisco Meeting Management の各ノードでは、Meeting Server クラスターで開催中の会議について、独自のビューが作成されます。そのため複数の Meeting Management ノード間で情報が共有されません。
Cisco Meeting Management クライアントの要件	<p>ブラウザで次のテクノロジーがサポートされ、有効になっている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • WebSocket • HTML5 • JavaScript <p>Cisco Meeting Management は、次のブラウザの最新バージョンでテストされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Mozilla Firefox • Microsoft IE 11 • Google Chrome • Safari
Cisco Meeting Server Web アプリ端末の互換性	<p>WebRTC 対応ブラウザ (Chrome、Firefox Safari、Edge、および Yandex) 経由で Windows、OS X、iOS、および Android。サポートされているオペレーティング システムおよびブラウザバージョンについては、Cisco Meeting Server Web アプリのリリースノートを参照してください。</p>

発注情報

Cisco Meeting Server 発注のための 4 つの主な手順を以下に示します。詳細については、

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/conferencing/meeting-server/sales-resources-listing.html> の発注ガイドを参照してください。

1. お客様が選んだプラットフォームを選択します。Cisco Meeting Server ソフトウェアは、Cisco Meeting Server 1000 および 2000 アプライアンスを実行するプラットフォームとして最適化されています。サードパーティのサーバもサポートされています。
2. 柔軟な容量ライセンス オプションによって、お客様のニーズに合わせて Cisco Meeting Server の機能を導入できます。Cisco Meeting Server は、Cisco Multiparty ライセンスによって会議ごとにライセンスが付与されます。これらのライセンスは、Personal Multiparty（ネームド ホスト）ライセンスと Shared Multiparty（共有ホスト）ライセンスという形で利用できます。詳細については、<https://cisco.com/go/meetingserver> を参照してください。
 - a. お客様は、Flex サブスクリプション（クラウド、ハイブリッド、またはオンプレミスのエンタイトルメント）を選択でき、月次または年次の請求が可能な、Cisco Software Support Services (SWSS) がバンドルされています。
 - b. シスコソフトウェアサポートサービス (SWSS) がバンドルされた、月次または年次課金による Cisco Meeting Server のみのサブスクリプション
 - c. 必須のソフトウェアサポートサービス (SWSS) を別途購入する永久ライセンス
3. 録画やストリーミングなどのオプションを追加することもできます。組織内で録画やストリームを管理、変換、または配布する必要がある場合は、弊社のソリューションパートナー、VBrick から Rev や DME などのソリューションを入手できます。詳細については、[『Cisco Webex Meetings Server 発注ガイド』](#)を参照してください。
4. Cisco Multiparty ライセンスには、会議の主催、Cisco Jabber for Cisco Meeting Server および Cisco Meeting Server Web アプリとの接続、および Cisco Meeting Management の権限が含まれます。これらの製品のソフトウェアは、アクティブなシスコサポート契約で <https://www.cisco.com/go/software> からダウンロードできます。

表 3 に、Cisco Meeting Server の発注情報を示します。

表 3. 発注情報

プラットフォーム (ステップ 1)	説明
CTI-CMS1KM5-BUN-K9	Cisco Meeting Server 1000 M5 バンドル
CTI-CMS2KM5-BUN-K9	Cisco Meeting Server 2000 M5 バンドル
R-CMS-K9	サードパーティ製サーバ用の、仮想エディションの Cisco Meeting Server のアクティベーションキー

ライセンス (ステップ 2a : FLEX サブスクリプション)	説明
A-FLEX (トップレベル SKU)	シスコの Meeting Server サブスクリプションプラン (年、月、または前払い、1 ~ 5 年の期間)。サブスクリプションにはソフトウェア サポートサービスが含まれます。
A-FLEX-PMP	ホストごとの個人マルチパーティ会議には、スケジューリングサービスおよび Expressway リッチメディアサービス用の TMS が含まれます。
A-FLEX-SMP	Shared Multiparty (同時会議) には Expressway リッチメディアサービスが含まれます

ライセンス (ステップ 2b CMS サブスクリプション)	説明
A-CMS (トップ レベル SKU)	年間、毎月、または前払いで、1 ~ 5 年の期間の会議用 Cisco Meeting Server サブスクリプションプラン。サブスクリプションにはソフトウェア サポートサービスが含まれます
A-CMS-EA-EC	企業内のすべてのナレッジワーカーに対するホストごとのエンタープライズ アグリーメント。無制限の会議には、録画、ストリーミング、スケジューリングサービス用の TMS、および Cisco Expressway リッチメディアサービスが含まれます。
A-CMS-PMP	ホストごとのパーソナルマルチパーティミーティング (スケジューリングサービス用の TMS および Expressway リッチメディアサービスを含む)
A-CMS-SMP	Shared Multiparty (同時会議) には Expressway リッチメディアサービスが含まれます

ライセンス (ステップ 2c 永久)	説明
CUWL-12X-K9 または CUWL-11X-K9 次に、NEW-UWL-12X-MTG または NEW-UWL-11X-MTG を選択します。	Cisco Unified Workspace License (UWL) Meetings 完全な Cisco Unified Communications 機能スタックに加え、会議、Cisco Jabber、スケジューリングサービス用の TMS、および Expressway リッチメディアサービスが含まれます。
CMS-PMP-K9	Personal Multiparty (ホストあたり) 会議は永久ライセンスのアラカルトです (Cisco UWL なし)
TP-SMP-K9	Shared Multiparty ライセンス (1 つの同時会議) : 永久、Expressway リッチメディアサービスを含む
LIC-CMS-ACU=	Cisco Meeting Server のキャパシティ単位 (ポートごとのレガシー)

オプション (ステップ 3)	説明
サブスクリプションオプション	
A-CMS-CUSTOM	カスタムレイアウトを作成して使用する機能を追加
A-CMS-RECORDING	ポートごとのサブスクリプションベースで録画またはストリーミングを追加
A-CMS-JABBER*	必要に応じて、Jabber for Cisco Meeting Server を会議サブスクリプションに追加
A-CMS-JABBER-ADDON*	必要に応じて、現在のサポート契約で既存の Cisco Meeting Server のお客様に Jabber for Cisco Meeting Server を追加
永久オプション	
CMS-RECORDING (上位の SKU)	Cisco Meeting Server 録画とストリーミング
CMS-REC-STARTERKIT	Cisco Meeting Server 録画スターターキット
LIC-CMS-REC-PORT	Cisco Meeting Server 録画またはストリーミングの追加ポート

サードパーティ製プラットフォームもサポートされています。その場合は Cisco Meeting Server ソフトウェアを別個に発注する必要があります (R-CMS-K9)。

* Cisco Jabber for Cisco Meeting Server は Meeting Server ライセンスに含まれており、会議へのコールが可能です。Cisco Unified Communications Manager 12.5 以上が必要です。ポイントツーポイント、アドホックエスカレーション、または IM&P サービスには、Cisco Unified Communications Manager (UCM) Calling サブスクリプションまたは Cisco Unified Workplace または Unified Calling ライセンスが必要です。

表 4 に、会議に参加できる参加者数をライセンス タイプごとに示します。

表 4. ライセンス タイプごとの会議のキャパシティ

コールのタイプ	Shared Multiparty ライセンスごとの参加者数	Personal Multiparty ライセンスごとの参加者数	Cisco Meeting Server のキャパシティ単位ごとの参加者数
フル HD 通話 (1080p60)	制限なし	制限なし	0.25
フル HD 通話 (1080p30)	制限なし	制限なし	0.5
HD 通話 (720p30)	制限なし	制限なし	1
SD 通話 (448p30)	制限なし	制限なし	2
音声通話	SMP ごとに 6 件の音声のみの会議、会議 1 件あたりの参加者数は無制限 (コンテンツは許可されない)	制限なし	12
Microsoft ゲートウェイ コール	SMP+ ライセンスごとに 6 つのゲートウェイ コール	1	解像度に依存 (標準的なコールと同様)

ライセンスには参加者数の制限はありませんが、会議ごとまたはサーバごとの参加者数を制限するハードウェアまたはソフトウェアの制限がある場合があります。

シスコの環境維持への取り組み

シスコの[企業の社会的責任](#)（CSR）レポートの「環境の持続性」セクションでは、製品、ソリューション、運用・拡張運用、サプライチェーンに対する、シスコの環境持続性ポリシーとイニシアチブを掲載しています。

次の表に、環境の持続可能性に関する主要なトピック（CSR レポートの「環境の持続性」セクションに記載）への参照リンクを示します。

持続可能性に関するトピック	参照先
製品の材料に関する法律および規制に関する情報	材料
製品、バッテリー、パッケージを含む電子廃棄物法規制に関する情報	WEEE 適合性

シスコでは、パッケージデータを情報共有目的でのみ提供しています。これらの情報は最新の法規制を反映していない可能性があります。シスコは、情報が完全、正確、または最新のものであることを表明、保証、または確約しません。これらの情報は予告なしに変更されることがあります。

Cisco Capital

目的達成に役立つ柔軟な支払いソリューション

Cisco Capital により、目標を達成するための適切なテクノロジーを簡単に取得し、ビジネス変革を実現し、競争力を維持できます。総所有コスト（TCO）の削減、資金の節約、成長の促進に役立ちます。100 カ国あまりの国々では、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、および他社製製品を購入するのに、シスコの柔軟な支払いソリューションを利用して、簡単かつ計画的に支払うことができます。[詳細はこちらをご覧ください](#)。

米国本社
Cisco Systems, Inc.
San Jose, CA

アジア太平洋地域本部
Cisco Systems (USA) Pte. Ltd.
Singapore

ヨーロッパ地域本部
Cisco Systems International BV
The Netherlands

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (<https://www.cisco.com/go/offices>) をご覧ください。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコや米国および他の国の関連会社の商標です。シスコの商標の一覧は、<https://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認いただけます。本書に記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者の財産です。「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。 (1110R)